

平成18年度病害虫発生予報第12号(3月予報)

<お知らせ> トマト黄化葉巻病(TYLCV)の発生状況を掲載しています(裏表紙参照)。

今月のトピックス

<http://www3.pref.okinawa.jp/site/view/cateview.jsp?cateid=119>

黒穂病 (さとうきび)

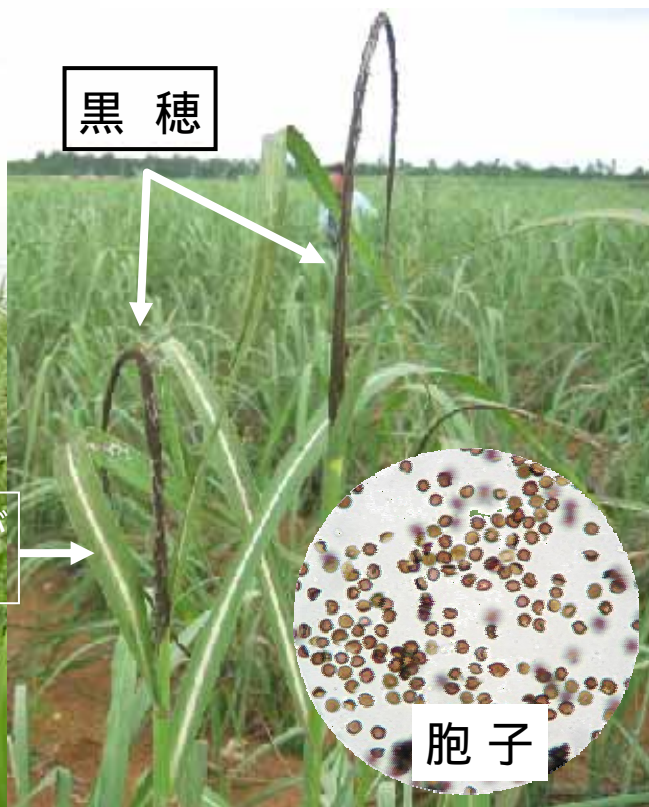
学名: *Ustilago scitaminea*

長細い
罹病茎

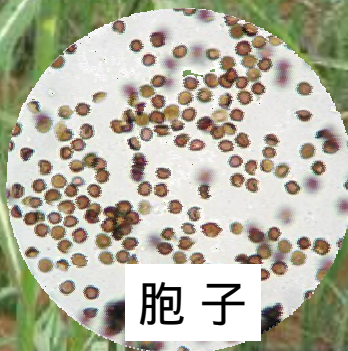


黒穂出現前の罹病株
(抜き取り適期)

黒穂



幅広で白色が強い中肋



孢子

生態と被害

本病の特徴は、長い鞭状体(いわゆる黒穂)が罹病茎の先端部から出ることである。病原体は糸状菌の一種で、黒穂上の孢子は、風や雨水によって分散する。罹病茎は茎が細くて節間が長い、また、葉の中肋は幅が広く、白色が強い。抵抗性品種の選択、健全苗の植え付け、および黒穂形成前の罹病茎の除去(3~5月)などの耕種的防除法が重要である。

予報の見方

- 1) 発生予察情報は、前月の調査に基づき発生程度が「並」以上の病害虫を中心に掲載しています。「やや少」以下の病害虫については通常掲載していません。
- 2) 「発生程度」は平年との比較を示しています。そのため、毎年その月で高い数値が続いた場合には、その月の「発生程度」は密度が高くて「並」として発表されます。前月との多少の比較はグラフを参考にしてください。

平成19年3月1日

沖縄県病害虫防除技術センター

